

編集 後記

日本公衆衛生学会雑誌は、わが国の公衆衛生学の水準をリードする雑誌として、質の高い公衆衛生学に関する論文を掲載してきたと言えます。これは良質な論文を投稿下さった先生方のおかげであり、編集側としては感謝いたします次第であります。一方で、公衆衛生学は公衆衛生の現場と切っても切れない関係にあり、それゆえ、公衆衛生の活動を報告して下さるような論文の投稿も勧奨されています。そのような中で、公衆衛生の現場で活動する様々な職種に要求される専門職としてのコンピテンシーについてどう考えてゆくかを示してゆくことも、本誌に要求されている事柄の1つかも知れません。本誌は近々A4判化されてゆく予定ですが、これを機会に、様々なテーマをシリーズとして連載してゆく試みも検討されています。これも本誌に対する読者のニーズを満たしてゆく試みの一環であります。医療制度や地域保健が大きく変わっていく時代の中で、本誌が発信してゆく学術的エビデンスにはますます期待がかかってくるものと考えます。編集部も全力を挙げて本誌に磨きをかけてゆきたいと思っておりますので、どうか広い視野からのご支援をお願いしたいと思う次第です。（加藤則子）

~~~~~ 3号予告（第54巻・第3号） ~~~~~

原 著

- アレルギー疾患を有する学生の食事脂肪酸摂取状況と血清および赤血球膜脂肪酸構成
.....仲野裕美, 他
- 介護予防事業の経済的側面からの評価
介護予防事業参加群と非参加群の医療・介護費用の推移分析.....吉田裕人, 他
- 感染症発生動向調査に基づいた警報・注意報発生法における基準値変更の影響.....村上義孝, 他
- 富山県内河川のウイルス汚染に関する定点観測
.....岩井雅恵, 他

第39回 アジア太平洋地区公衆衛生学術連合
(APACPH: Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health)
国際会議のご案内 (2007年11月21-25日)

メインテーマ Lifestyle-related Disease Prevention :
 The Challenge for Nutrition and Public Health
(生活習慣病の予防～栄養と公衆衛生の挑戦～)
<http://www.apacph2007.org/>

アジア太平洋地区公衆衛生学術連合(APACPH)とは

アジア太平洋地区の公衆衛生大学校が中心になり、1984年に設立された学術連合です。メンバーは基本的に組織単位の加入で、2006年現在、20か国・地域の59の組織が加入しております。各大学・研究所の教育水準の向上を主要な目的とし、共同研究や学術交流の推進・向上を図り、各国の公衆衛生上の課題解決に向けて政策提言などを行う活動をしています。

第39回 国際会議の概要

11月21日(水) APACPH 理事会 **11月22日(木)** APACPH 総会、Pre-Conference
11月23(金)-25日(日) Conference: 女子栄養大学 坂戸キャンパスにて

登録締切り		日本人参加費	
演題登録 受付締切り	2007年5月31日	早期参加登録	3万円
早期参加登録 受付締切り	2007年8月31日	以降の登録	3万5千円
参加登録 受付締切(予定)	2007年9月30日	学生	2万円

セッションの主な内容(予定)

- ・ シンポジウム
 1. 国際保健・栄養
 2. 思春期保健：喫煙を中心に
 3. 公衆衛生専門職の養成と課題
- ・ テーマセッション
 1. 肥満とメタボリックシンドローム
 2. 脂質栄養と生活習慣病予防
 3. 健康日本21ー展望と解決すべき課題、他

主催: 女子栄養大学 **共催:** 国立保健医療科学院

後援: 埼玉県、国際協力機構(JICA)、日本家族計画協会、他

後援学会: 日本公衆衛生学会、日本国際保健医療学会、日本疫学会、日本民族衛生学会、他

その他インフォメーション: <http://www.eiyo.ac.jp/apacph> **問合せ先:** APACPH 事務局 (株)ILCC 内

Tel: 03-5562-3677 Fax: 03-5562-3666

E-mail: apacph2007@ilcc.com

好評発売中!!



衛生行政大要 改訂第20版

衛生行政に従事されている方々、これから志す方々、地域保健の実務に携わる方々のために、衛生行政の現状と課題を概説しています。

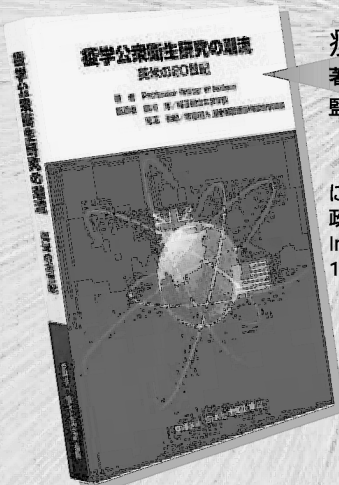
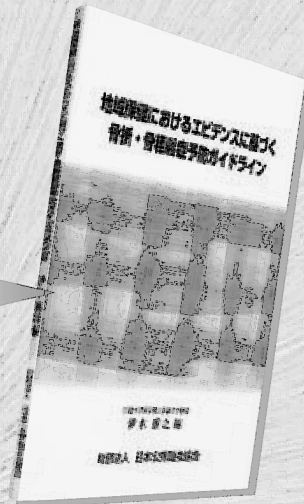
様式：B5判 277頁 定価：3,885円（本体価格3,700円 税185円）

地域保健におけるエビデンスに基づく骨折・骨粗鬆症予防ガイドライン

編著者 伊木雅之（近畿大学 医学部公衆衛生学 教授）

公衆衛生領域で骨折・骨粗鬆症予防に携わる方々、医療機関で高齢者の医療にかかわっている方々、高齢者の介護にかかわっている方々、中高年の健康管理にかかわっている方々などに、ぜひとも活用していただきたい骨折・骨粗鬆症予防のためのガイドラインです。

様式：B5判 133頁 定価：2,625円（本体価格2,500円 税125円）



疫学公衆衛生研究の潮流 英米の20世紀

著者 Professor Walter W Holland

監訳者 柳川 洋（埼玉県立大学 学長）

児玉和紀（財団法人 放射線影響研究所 疫学部長）

疫学研究の第一人者であるウォルター・ホランド氏が、20世紀の英米における疫学公衆衛生研究発展の系譜、住民の健康増進への寄与、健康政策への関与などについてまとめた『Foundations for Health Improvement, Productive Epidemiological Public Health Research 1919-1998』を和訳したものです。

様式：B5判 194頁 定価：2,205円（本体価格2,100円 税105円）

感染症予防必携 第2版

編集者代表 山崎修道

（元国立感染症研究所長、（株）三菱化学ピーシーエル 顧問）

新たな感染症法にもとづいて初版の内容を見直し、各疾病の疫学、臨床、診断、予防、治療について改訂するとともに、とくに最近話題になっている動物由来の新興感染症に関する新たな知見を加えました。

様式：A5判 675頁 定価：4,305円（本体価格4,100円 税205円）



●ご注文・お問い合わせ●

財団法人 日本公衆衛生協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 TEL.03-3352-4281 FAX.03-3352-4605 HP <http://www.jppha.or.jp> E-mail info@jppha.or.jp